



用途

- 水利権
- 灌漑
- 頭首工
- 処理済み排水
- 下水管
- 工業排水
- 雨水・埋立地浸出水
- 酸性鉱山排水
- 表流水
- Edge-of-Field調査
- 鉱山排水
- ダム漏水監視
- 畜舎流出水
- 湧水の放出

パーシャルフリュームは、アメリカ農務省土壌保全局（現自然資源保全局）に所属していたラルフ・パーシャル博士によって1915年に開発が始まった短スロートフリュームの一種です。

もともとは灌漑や表流水の流量を測定するためのベンチュリーフリュームのより精度の良い改良版として設計されましたが、現在では、工業排水、都市下水、下水処理施設での流入・流出量の測定に最も広く使用されているフリュームとなっています。

Openchannelflow社のパーシャルフリュームは以下の厳格な基準を満たしています：

- ASTM D 1941
- ISO 9826
- JIS B7553
- Bureau of Reclamation Water Measurement Manual
- これらの基準に基づき、常流で開水路条件下の流量を±3～5%の精度で測定するように設計されています。

スロート部のサイズは、流量0.0033～518.7CFS（0.0921～14,690リットル/秒）に対し、1インチから144インチ（2.54～365.8cm）まで揃えており、幅広い材料と構成を**Openchannelflow**社は揃えています。

材料オプション

- 水利権
- 灌漑
- ヘッドワーク（取水口）
- 処理済み排水
- 衛生収集システム
- 工業排水
- 雨水・埋立地浸出水



Openchannelflow社は、水および排水の測定用フリュームの最も幅広い選択肢を提供しています。**Openchannelflow**社のフリュームは高精度かつコスト効率に優れており、幅広いカスタマイズが可能で、最も過酷な用途にも耐えうる設計となっています。

標準化

パーシャルフリュームは明確に定義され、標準化されたフリュームであり、現場での校正や特別な評価は通常必要ありません。

正しく設置され、流れが十分に形成されている限り、公表されている評価表や方程式をそのまま使用できます。

また、フリュームの設置後に沈下や、下流側条件により下流側水位が下がる場合でも、実験室で余すところなく研究された補正係数を用いることでデータを正規化できます。

実証に基づく装置

パーシャルフリュームは標準化されている一方で、実験に基づく特性を持つ装置でもあります。このため、フリュームは互いにスケールモデルの関係にありません。

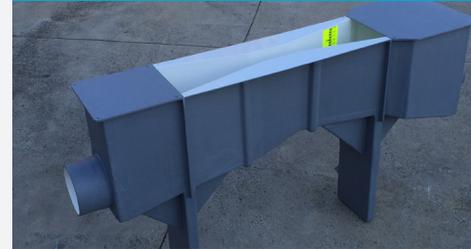
22種類のサイズが開発されており、1インチから50フィート（2.54～15.24m）の範囲で幅広い用途と流量に対応しています。

非標準サイズの排水特性は実験室条件下で調査されていないため、その使用は強く推奨されません。

カスタマイズ

Openchannelflow社は、特定の現場ニーズに対応するための設置、接続、流量・水位測定アクセサリーの幅広い選択肢を提供しています。

設置



- 自立型
- 土水路
- PMMタイプマンホール
- 地上設置エンクロージャー

流量・水位測定アクセサリー



- 水位計
- スティリングウェル
- バブラーチューブ
- 超音波センサーユニット

接続端部



- スタブエンド
- フランジ
- コーキング管継手
- 翼壁型

GET STARTED

Let's bring your Parshall Flume project to life.

→ [SUBMIT ONLINE REQUEST](#)

☎ [CALL 855.481.1118](tel:855.481.1118)